

科目名	初級英会話 (Aクラス)	科目分類	<input type="checkbox"/> 専門科目群 <input checked="" type="checkbox"/> 総合科目群		
			全学科	<input type="checkbox"/> 必修 <input checked="" type="checkbox"/> 選択	
英文表記	Beginner English Conversation	開講年次	■ 1年 <input type="checkbox"/> 2年 <input type="checkbox"/> 3年 <input type="checkbox"/> 4年		
		開講期間	<input type="checkbox"/> 前期 <input type="checkbox"/> 後期 <input checked="" type="checkbox"/> 通年 <input type="checkbox"/> 集中		
ふりがな	カート・カールソン	実務家教員 担当科目	<input type="radio"/>	修得単位	2単位
担当者名	Kurt Carlson	実施方法	■ 対面のみ <input type="checkbox"/> 遠隔のみ <input type="checkbox"/> 対面・遠隔併用		
授業のテーマ	英語の語学力、話す能力を上達させる。				
到達目標	もっと自信を持ちリラックスしていろいろな状況でも英語を話せるようになる。				
授業概要	話す、聞き取る練習をペア。またはグループで行う。				
授業計画					
第1回	発音・挨拶	第17回	時の表現		
第2回	情報交換・さよならの種類&練習	第18回	最近の活動、行動を説明する		
第3回	ユニットまとめ/クラス活動	第19回	ユニットまとめ/クラス活動		
第4回	対象の名の付け方・単数&複数	第20回	交通機関		
第5回	はい/いいえと質問・前置詞	第21回	簡単な質問		
第6回	ユニットまとめ/クラス活動	第22回	ユニットまとめ/クラス活動		
第7回	ユニット1-2の上達度チェック・クイズ	第23回	ユニット5-6上達度チェック・クイズ		
第8回	都会と田舎・質問	第24回	家、アパート、部屋と家具		
第9回	他の人についての説明を尋ねる	第25回	家と家具の説明		
第10回	ユニットまとめ/クラス活動	第26回	ユニットまとめ/クラス活動		
第11回	衣服と色	第27回	仕事と職場		
第12回	天気と季節	第28回	仕事の説明		
第13回	ユニットまとめ/クラス活動	第29回	ユニットまとめ/クラス活動		
第14回	ユニット3-4上達度チェック・クイズ	第30回	ユニット7-8上達度チェック・クイズ		
第15回	復習 ユニット1-4	第31回	復習 ユニット5-8		
第16回	前期定期試験	第32回	後期定期試験		
授業時間外の 学習	与えられた宿題、オンラインでの練習、毎回のクラスの復習				
履修条件 受講のルール	Placement Test (英語実力テスト) で「初級英会話」の結果により決まる。※抽選あり 【受講のルール】 教科書を必ず購入してください。				
テキスト	Interchange Intro 5th Edition A Full Contact				

参考文献・資料	辞書・ノート・ハイライトマーカー
成績評価の方法	30%クラス参加 30%クイズ(小テスト) 40%定期試験
オフィスアワー	水曜日 12:15～12:45 (教室内)
成績評価の基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下) *授業回数の1/3(通年で10回)以上欠席した場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は、期末試験を受けることができません。
実務経験及び実務を活かした授業内容	英会話の教師として3歳から70歳まで20年教えています。 2010年に Kurt's English を開業。その他病院や幼稚園にも出張講師をしています。 http://kurtenglish.com
学生へのメッセージ	学生は全員英語で話すこと。クラスへの参加は会話に慣れるために大切なことです。25%成績に関わってきます。間違っても大丈夫です。一番大切なのは頑張って英語で話したり伝えたりすることです。

科目名	初級英会話 (Bクラス)	科目分類	□専門科目群 ■総合科目群		
			全学科	□必修 ■選択	
英文表記	Elementary English	開講年次	■1年 □2年 □3年 □4年		
		開講期間	□前期 □後期 ■通年 □集中		
ふりがな	クリスチャン・オブライエン	実務家教員 担当科目	○	修得単位	2単位
担当者名	Christian O'Brien	実施方法	■対面のみ □遠隔のみ □対面・遠隔併用		
授業のテーマ	このクラスでは、日常生活のさまざまな場面で英語を使用する方法を学生に紹介し、ビジネスや個人の状況で英語に必要な基本的な文法を教えます。				
到達目標	学生は、次のスキルを習得すると、このクラスの単位を取得できます。 1.日常生活について英語で声明を出す 2.基本的な英語の文法を使用して質問したり答えたりできる 3.過去、現在、未来のイベントを説明するために基本的な英語を使用できるか				
授業概要	このクラスでは、講義、ブックワーク、リスニング、スピーキング、グループ活動を通じて、英語と文法の基礎を練習します。また、日常生活や時事問題の幅広いトピックについても議論します。				
授業計画					
第1回	紹介と「Be」ステートメントの作成	第17回	「Can」という言葉で時制を使用する		
第2回	英語の記事と前置詞を使用する	第18回	能力に関する質問の作成と回答		
第3回	「はい、いいえ」の質問と発言、「Wh-」の質問の操作	第19回	将来の計画について話す		
第4回	質問と回答の所有形容詞と代名詞を理解する	第20回	今後の計画について質問する		
第5回	現在の継続的な発言と質問、形容詞の配置	第21回	正と負の形容詞を使用して病気や感情について話す		
第6回	時間表現と前置詞を理解する	第22回	命令文の使用		
第7回	現在の継続的な「Wh-」質問の作成	第23回	場所の前置詞を使用して場所を説明する		
第8回	規則的な動詞と不規則な動詞の使用	第24回	道順を尋ねて与える		
第9回	「Wh-」質問と時間表現	第25回	簡単な過去のステートメントを使用する		
第10回	時制を使用して、物があるかどうかを説明する	第26回	過去について質問する		
第11回	必要なものを説明する	第27回	「Be」動詞を使用して過去について話す		
第12回	「do」および「does」を含む「Wh-」質問	第28回	「did」、「was」、「were」で「Wh-」の質問をする		
第13回	「Be」動詞の形容詞の使用	第29回	前置詞句の使用、および主語と目的語の代名詞の使用		
第14回	カウント名詞と非カウント名詞を理解する	第30回	招待状の作成と回答		
第15回	頻度とレビューの副詞を使用する	第31回	レビュー		
第16回	前期定期試験	第32回	後期定期試験		
授業時間外の学習	1.授業前には教科書の該当箇所には必ず目を通してください。分からない用語は調べてノートにまとめておいてください。(1.5時間程度) 2.生徒は、定義や例文とともに、クラスや外部のソースから学習した新しい単語を書く語彙日誌を保持およびレビューする必要があります。(0.5時間程度) 3.生徒は、試験に重要となるため、文法のセクションに特に注意しながら、定期的に教科書を確認する必要があります。(1.5時間程度)				
履修条件 受講のルール	教科書を必ず購入してください。また、適宜資料を配布しますが、事前に連絡が無く欠席した学生には原則配布しませんので、友人同士でコピーして下さい。				

テキスト	Interchange Intro 5 th edition.
参考文献・資料	Cambridge.org/interchange
成績評価の方法	<p>【小テスト(30%)、クラス参加(20%)、定期試験(50%)】 上記評価項目を基にして総合的に判断します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席回数が規定に満たない場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は、試験を受けることができません。 ・出席確認時に不在だった場合は原則としてその回は欠席とします。 ・授業中に無許可で退出した場合は欠席とします。
オフィスアワー	授業後の木曜日、10:30 から 11:00 まで、予約制
成績評価の基準	秀(100～90 点)、優(89～80 点)、良(79～70 点)、可(69～60 点)、不可(59 点以下)
実務経験及び実務を活かした授業内容	私は 15 年以上にわたって第二言語として英語を教えてきました。これらの 15 年間のうち、12 年間は日本であらゆる年齢の学生に教えてきました。このクラスを通して、学生に英語コミュニケーションの基礎を教えたいと思っています。また、将来の英語学習のための強力な基盤と動機を学生に与えたいと思っています。
学生へのメッセージ	英語の研究と使用は重要性を増しています。英語は、世界中のビジネス、英語圏の国、およびその他の国で共通の第二言語として使用されています。また、旅行が安価で一般的になるにつれて、英語は日本の日常生活においてより重要になっています。このクラスで教えられたスキルは、いつか役に立つと思います。そのための準備をし、自信を持って英語で表現できるようにお手伝いしたいと思います。